

# カメレオンがチーズをまもる、 って知ってました？



■カメレオンとは、USBデバイスのパイオニア、米国LucidPort Technology社が開発した『データ保護用暗号化キー』製品シリーズです。モバイル記憶デバイスである**USBメモリ**や、その**垂流ではありません**。構造も機能も全く違います。カメレオンは、ユーザー所要のデータファイルやフォルダを一瞬で**暗号化**し、あるいは**解除する基本機能**を持っています。カメレオンはメモリデバイスではないので、データ類を一切内蔵していません。その内容をコピーしようとするのは無意味です。また未使用のカメレオンを入手して**複製を試みても、認証された正規ユーザと環境条件以外では不可能**です。(メーカーであるLucidPort社でさえも不可能なのです) **世界初の製品** で米国特許出願済です。

■USBメモリは、簡便なモバイル記憶デバイスとして重宝されてきました。しかし、その利便性が逆に仇となって、近年多くの企業などでは、**社内使用禁止の規制**さえ実施するに至っています。理由を挙げれば、次の3点に絞られましょう。

- (1) 持ち歩きが容易なので**紛失し易い**。いったん重要データが流失すれば、その拡散は止められず、**損失は計り知れない**。
- (2) 多種多様な環境で一時的に使用されることが多く、知らず知らずのうちに**ウイルス感染に曝される機会**が多い。特に企業の**閉鎖ネット環境**などでは、致命的な**ウイルス感染源**となってしまう惧れがある。
- (3) 機密データを盗もうとするハッカーにとっては、**小形で隠し易く、コピー速度、メモリ容量等、性能的にも手頃なツール**であること。

カメレオンは**USBメモリ**  
ではありません。



カメレオンは、**世界初のUSB**  
**データ保護用暗号化キー**  
です。(米国特許出願済)

■ひとりUSBメモリだけが喫緊の課題なのではありません。最近、個人や企業、官公庁までもが機密データの流失や盗難、サイバー攻撃に手を焼いています。ファイアウォールの穴を塞ぐのは、ウイルス対策ソフトのプロの仕事ですが、個々のパソコンや端末機を最後の砦として守り抜くのは、あくまでも**ユーザーの自己責任**です。しかし本来、性善的傾向の強い我国においては、その認識が若干甘いのではないかと懸念されます。カメレオンは、一個人から大組織までの多くの実務環境で、取扱データの保護という自己責任遂行の強力な助っ人になります。

■コンピュータは、まことに便利なデータの保管箱です。日々発生する公私の情報をこれに入れておけば、何か必要を生じた際には、あちこち探し回ることも無用になります。しかし、**保管箱ではあっても、堅牢な金庫とは言い難い**のです。ハッカー連中から見れば、世のパソコンは宝の山です。我国のパソコンユーザーの多くが、システムの内外にナマのデータを置きっ放しにしているところに問題があるのです。では、**金庫化**はどうすれば実現できるでしょうか？**答えは暗号化**です。正当なユーザーだけが解読できるように暗号化したデータなら、万一流失したとしても他人に利用される危険はなく、その損害も限られたものになるでしょう。

■絶対に流失が許されない種類とレベルの機密データの暗号化は、今日、個人ユーザーにとっても必須不可欠な技術です。パソコンや端末機内外の機密データを、カメレオンを使って常に暗号化しておけば、USBメモリに関する**前記三点の不安も解消**します。**在来の安価なUSBメモリでも充分**で、暗号機能付USBメモリや生体認証付のものなどの必要場面は下がるでしょう。

米国 LucidPort Technology 社  
日本総代理店

**株式会社 日本アイ・シー**

〒194-0041 東京都町田市玉川学園 3-22-8  
☎ 090-3218-8540(直) FAX: 047-324-0533

お問い合わせは ⇒ ⇒ [eigyo@nipponic.co.jp](mailto:eigyo@nipponic.co.jp)  
<http://www.lucidport.com/>

■前記のようにUSBメモリやCDなどのモバイルデバイスを使ったり、ネット経由でパソコンや端末機から、直接、間接に機密情報を盗み出そうとするハッカー行為に対しては、カメレオンによるデータ暗号化が、常時、継続的かつ確実に阻止します。カメレオンを継続使用すれば、『危険を冒して盗んでもムダ』という大きな抑止効果も実現できるでしょう。

■暗号化というと、まず頭に浮かぶのはパスワードでしょう。パスワードは暗号化への第一歩ですが、一般的には脆弱過ぎます。長いと覚えきれませんし。所詮、パスワードは気休め程度のもので心を得るべきです。いわば、コンピュータ内部への入口で、入場資格を確認するだけのものですから、一旦ハッカーに内部侵入を許してしまえば、暗号化されていないナマのデータは、彼等による盗みの仕放題になってしまうでしょう。

■以上述べて来た問題点の簡単、確実な解決策がカメレオンです。暗号強度はプロが満足するレベルで、使い勝手はこれ以上ない程簡便に、という実用上のトレードオフを十分にクリアした製品になりました。対応暗号化システムは、AES256に準拠しています。AES256は、米国で政府筋や軍用に広く使われ、堅牢性と実用性の点で定評のある暗号規格です。LucidPort社は、その暗号化システムの主要部分を自社設計のシリコンチップにまとめ親指サイズのデータ保護用暗号化キー、カメレオン・シリーズを完成させました。前記のように世界初の製品です。

■カメレオンの特色について、概要をご説明しましょう。

- [1] カメレオンは、正規ユーザー自身が、所定の手続きに従ってブランクキーを活性化します。これで、世界で唯一つのデータ保護用暗号化キーが完成します。簡単です。
- [2] カメレオンは、コンピュータ本体と切り離して、常時、別個に保管や携帯することをお勧めしています。USBメモリ同様の親指サイズなので、目立たない携帯に便利です。コンピュータからカメレオンを取り外した状態においては、暗号化済みのデータは安全に保護されます。
- [3] 前記のように、カメレオンによる暗号化は、暗号強度で定評のあるAES256に準拠しており、指定したデータの丸々全部を暗号化します。局部的暗号化ではありません。
- [4] カメレオンの基本機能は、暗号化、復号化(暗号解除)、完全削除の三点です。たとえば暗号化の場合、カメレオンをコンピュータのUSBポートに挿入し、マウスを動かして所要のデータファイルやフォルダにポイントを当て、マウスの右クリックで暗号化作業を選択、更に左クリックすれば、暗号化処理は瞬速スピードで完了します。復号化や完全削除作業も同様で、すべてに亘って操作は簡単です。
- [5] カメレオンの常時使用に際しては、前記の通り、煩雑なパスワード管理の必要はありません。カメレオンを紛失しないよう注意するだけです。万一カメレオンが人手に渡ってしまったとしても、ユーザー自身が認証したコンピュータ以外では動作しないので安心です。また、正規カメレオン以外の製品を正規認証済コンピュータに接続してみても、暗号化済みのデータは開けないので、これまた安心です。
- [6] カメレオンには、個々のファイルやフォルダの暗号化のほかに、ステルス・ドライブを設定する能力があります。これは、正規カメレオンをパソコンのUSBポートに差し込んだ時だけに出現するドライブ領域です。カメレオンを持たない者が、その

ドライブ領域に侵入しようとしても、不可能です。そもそも見えないのですから。データの保管箱であるパソコンの一隅に、正規ユーザー以外には見えない、堅牢な隠し金庫を設置できるのです。見えなければ、ハッカーも侵入できない道理で、ウイルス抗堪性も向上します。実体はあるが見えない、これがカメレオンの名の由来です。その容量は、インストール時に任意に設定できますが、後から必要に応じて変更も可能です。また、同一パソコン内にそれぞれ別個のカメレオン・キーに対応したステルス・ドライブを複数個設定することもできます。機密データを扱う作業は、すべてこのステルス・ドライブを開いて行い、格納する習慣にしておけば、万一、個々のファイルの暗号化を忘れたとしても安全です。また、個々のファイルやフォルダの暗号化は完全であっても通常ドライブに置いたままだと、ハッカーが解読不能の腹癒せに削除してしまう危険性を避けられます。カメレオンを取り外せば、ステルス・ドライブは姿を消してしまうのですから安全、安心です。

- [7] 前記[6]の機能は、業務の都合で複数の作業者が同一のコンピュータを使用する場合などに便利です。現行のウィンドウズ・パソコンなどでは、メールは別々に管理できても、ドライブは共用です。これに対し、別々に、独立したカメレオンを使用すれば、各作業者が相互に見ることのできない、それぞれのステルスドライブを設定できるのです。
- [8] カメレオンを、ユーザー自身の認証のもと、正規の手続きを経て複製しておく。次に、メールの送信者が、カメレオンを用いて重要ファイルを暗号化し、メールに添付して送信する。メール受信者は、複製カメレオンを使って添付の暗号化ファイルを開く。これで、局外者に盗視される懸念のない暗号通信が実行できます。メール本体は、単なる送付状です。特に、海外出張者がホテルの自室から無線LANを経て、日本の本社に重要事項についてメールする場合を考えてみてください。このような場合に、カメレオンの使用は絶大な威力を發揮します。海外出張者は(特に食事などの私用で)外出の際、パソコンはホテル自室に置いたままにしがちです。機密データは、すべて即刻暗号化し、カメレオンだけを外して常時身に付けておけば、安全かつ安心です。また会議の途中で、パソコンを残して短時間中座するような場合でも、さりげなくカメレオンを外せば安心です。企業向けカメレオンにはPCロック機能もあります。
- [9] カメレオンの強力かつ簡便な暗号化機能を使えば、クラウドサーバーに機密データ保管を依頼する時にも安心です。
- [10] 以上の特色は、カメレオン・シリーズ全般に通じるものですが、具体的な機種としては、単体で使用することを想定した基本の『BASIC』、また企業など組織向けの機種として、『PRO-MASTER』と『PRO-USER』とがあります。ホテルになぞらえると、それぞれの客室キーに相当するのが『USER』であり、全室を開くことのできるマスターキーに相当するのが『MASTER』です。前項[8]のように、複数の『USER』(出張社員達)と、『MASTER』(本社上司)間の暗号通信や、機密報告書のメール経由提出なども確実かつ容易です。また退職元社員が『USER』キーの返却に応じない場合でも、『MASTER』キーを使えば暗号化ファイルをすべて解読でき、返却を拒む『USER』キーを無効にすることも確実に実行できます。 ■

★製品番号、価格、在庫状況、販売店のご希望などは弊社迄。